

すくすく

たけのこキッズ

第28号



川崎こどもクリニック

〒597-0102 貝塚市木積656-7

電話：072-421-2033

http://www.kawasaki-kc.jp

平成19年8月20日発行

夏かぜのピーク過ぎる

7月から8月前半はヘルパンギーナという夏かぜがかなり多くありましたが、お盆過ぎからは落ち着きました。そろそろ新学期モードにして行って下さい。

「吸入は早めに」が効果的

喘息や肺炎などの時には痰を出すために吸入を行います。吸入は生理食塩水で行っても効果はありますが、より効果を高めるために去痰作用や気管支拡張作用のある薬を入れて吸入を行います。微粒子となって吸入された薬は肺の奥の方まで届き、そこにある細胞に直接効きます。これは、写真のように使用のたびに液を入れて使うものでも、携帯が簡単なスプレー式のものでも同様です。ただ喘息発作がきつくなって、ひどい呼吸困難となっている時には、肺の奥まで空気が入って行きませんから、せっかくの吸入された薬も肝心な所まで届きません。薬の使いすぎは慎まねばなりません。少し早めの吸入の効果が高いと言うことがおわかりいただけると思います。なお、家電販売店で安く提供されている吸入器は、のど鼻用というものであることが多いです。アレルギー性鼻炎やのどが痛いときなどには重宝なものです。発生する霧の粒子が大きいため、喘息治療と言うことに関しては肝心なところまで届かず効果は期待できません。（写真はオムロン超音波式ネブライザ NE-U22[上]とメブチンエア-[下]）



コミュニティFMへの出演

昨年よりFMかいつか (Jolly FM/82.6MHz) の「あさねた。Good-Morning!」という番組の1コーナーを当クリニックが提供しています。単にスポンサーとして広告しているだけでなく、毎週火曜日午前8時45分頃から5分間程度、院長が電話で生出演して、番組DJと掛け合いでしゃべっています。去る8月14日はクリニックが夏期休暇中でしたので、実際に貝塚駅前のオープンスタジオにお邪魔して直接DJさんと向かい合って百日咳について話をしてきました。今回のテーマはちょうど前日に朝日新聞に成人の百日咳の問題が取り上げられていましたのでそれを採用しました。生放送という利点を生かして、今後も時季に応じた話題を臨機応変に取り上げていきたいと思っております。こういう話題を取り上げて欲しいというような要望や質問がありましたら、Jolly FMのリクエスト受付アドレス jolly@kai826.co.jp までお寄せ下さい。曲のリクエストもしてあげてくださいね。

8月28日夕方に皆既月食

8月28日の夕方から夜にかけて、全国で皆既月食が見られます。地球の影の中に月がすっぽりとお入ってしまうこの現象が全国で見られるのは、2001年1月以来6年ぶりのことです。観察しやすい時間帯に起こりますので、ぜひ観察してみませんか。

月食は、月が地球の影に入ることによって暗くなり、まるで月が欠けてしまったかのように見える現象です。今回はさらに月が全部影に入ってしまう皆既食（皆既月食）が見られます。今回の月食の経過は次のとおりです。

月食の始め : 17時51分 (月はまだ地平線の下)
皆既食の始め : 18時52分
食の最大 : 19時37分
皆既食の終わり : 20時23分
月食の終わり : 21時24分

月は、月食が始まった状態（月が欠けた状態）で地平線から昇ってきます。月の出の時刻は地方により変わりますが、月食の経過は日本全国どこでもほとんど同じ時刻です。なお、月が地球の影に完全に隠れて皆既月食となっても、一般的に月は真っ黒になりません。地球の大気がレンズのような役割をし、太陽光を屈折させほんのわずかに影の中側に曲げるからです。この時、青い光は大気中のチリ（塵）などで散乱してしましますが、赤い光は散乱しづらいため、影の中に入り込み皆既月食中の月面をほんのりと赤く照らします。なお、次回日本でまともに見られる皆既月食は2011年12月10日です。

皆既月食



2000年7月16日 名古屋市科学館

小児救急広域センター出務日

9月16日 (日) 午後5～10時

休診のお知らせ

8月24日 (金)～25日 (土) 学会出張のため